

85 歳以上の高齢者に対する腹部手術の短期的成績に関する検討

1. 研究の対象

2022 年 9 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日までに研究参加機関で緊急手術を受けられた患者さまで、85 歳以上を超える方を超高齢者と定義し本研究の対象とします。

2. 研究目的・方法

研究目的

本邦での高齢者人口の増加に伴って、85 歳を超える超高齢者に対する腹部手術も増加傾向であり、高齢者は慢性疾患や認知症などを罹患し手術に伴うリスクを抱える一方で、合併症の出現や ADL 低下による在院日数の長期化など術後の問題点も存在しています。

高齢者であることそのものは治療適応の決定に影響を与えるとは言いがたいですが、上記の様な事由により手術加療が結果として患者さまに与える負の側面もあり、客観的なリスク因子の評価項目を明らかにしていくことは重要であると考えられます。ASA-PS, PNI (prognostic nutritional index), GNRI (Geriatric Nutritional Risk Index), NLR(リンパ球/好中球比), NAR(好中球球/Alb 比), CAR (CRP/Alb 比)など術前因子としての各種栄養指標や体格など、患者背景から予想される術後の予後への影響について検討することとしました。

研究方法：

単施設による後ろ向き観察研究

研究期間：2022 年 9 月 1 日(病院開院日)から 2026 年 8 月 31 日まで

患者情報について後方視的にデータ収集を行い、算出される栄養指標やフレイル (Clinical Frailty Scale 等)に関わる項目を検討し、手術成績や患者予後などと照らし合わせることで今後診療に有用となる予測因子を見いだすこととしました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載される身長や体重、既往歴、手術歴を含めた一般身体所見および診療経過

診療に関わる血液検査や Xp,CT など各種画像検査

手術時間や出血量など管理される麻酔記録

4. 外部への試料・情報の提供

本研究による解析結果を学会、論文発表に用いる可能性があります。

発表の際には個人情報情報を匿名化し、各種データから患者情報が特定できない形で用いることとしています。

各種パラメータのデータベースについては研究責任者が保管・管理します。

5. お問い合わせ先 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

川西市総合医療センター

住所：〒666-0017 兵庫県川西市火打 1-4-1

TEL 0570-01-8199 FAX 072-789-8196

研究責任者：

川西市総合医療センター 外科、消化器外科 美濃地貴之